

J-SLA ニュースレター 2019 年 1 月・2 月合併号

(The English version is placed after the Japanese version.)

みなさま、大変大変遅くなりましたが、本年もどうぞよろしくお願いいたします。
今号は 1 月と 2 月の合併号です。

<今号の内容>

1. 2019 年度年次大会 (J-SLA2019) 及び発表募集のお知らせ
2. 学会誌 Second Language Vol.17 の進捗状況
3. 学会誌 Second Language への J-STAGE を通したアクセス状況
4. ウェブページへの情報掲載について

1. 2019 年度年次大会 (J-SLA2019) 及び発表募集のお知らせ

2019 年度年次大会を以下のとおり実施します。

J-SLA2019 ポスター最終版 new

日本第二言語習得学会・第 19 回年次大会 (J-SLA 2019)

日時：2019 年 6 月 1 日(土)・6 月 2 日(日)

場所：中央大学多摩キャンパス (3 号館)

交通アクセス：<http://www.chuo-u.ac.jp/access/>

基調講演：Dr. Bill VanPatten

発表応募締切： 2019 年 2 月 28 日 (木)

審査結果の発表： 2019 年 3 月末ごろまでに、本人にメールにて報告する。

J-SLA2019 での発表募集について

口頭発表 (20 分発表+10 分質疑応答)、ポスター発表、学生ワークショップでの発表を募集しています。いずれも、詳しい内容は、ウェブサイトをご覧ください。

[http://www.j-](http://www.j-sla.org/)

[sla.org/wordpress/wpcontent/uploads/21f763a7f5eada40503e79c14898a6fb.pdf](http://www.j-sla.org/wordpress/wpcontent/uploads/21f763a7f5eada40503e79c14898a6fb.pdf)

<応募と発表に関する注意事項>

- (1) 二重投稿は認めない。
- (2) 未発表のものに限る。口頭発表、ポスター発表のいずれにも代理発表は認めない。
- (3) 「口頭発表」は、個人研究・共同研究に関わらず、応募者一人について一件とする。ただし、「ポスター発表」、「学生ワークショップ」(学生会員のみ) への同時応募はさまたげない。その場合、発表内容は異なること。

(4) 発表言語は英語または日本語です。

☆学生ワークショップは研究途中のものも歓迎します。専門家からのフィードバックがあります。採択率は高いですから、初めての方も挑戦してください。応募方法がわからない方は、J-sla2019@j-sla.org（担当：若林茂則）までご遠慮なく連絡ください。

2. 学会誌 *Second Language Vol.17* の進捗状況

Second Language Vol. 17 は 2 月中旬までに会員の皆様の元にお届けする予定です。ただし、海外の場合は少し時間がかかります。

3. 学会誌 *Second Language* への J-STAGE を通したアクセス状況

4. 学会誌 *Second Language* への J-STAGE を通したアクセス状況

学会誌 *Second Language* は、J-STAGE を通して、ウェブ上で公開されています。

★2018 年 12 月論文別アクセス数トップ 5

順位	論文タイトル	巻, 開始頁
1	言語習得の臨界期について	3, 3
2	日本語母語話者による英語冠詞選択における普遍的意味素性の影響	15, 31
3	言語理論と教室第二言語習得研究	16, 39
4	生成文法理論に基づく SLA リサーチの可能性	16, 19
5	自他交替の第二言語習得における過剰般化	4, 75

★2018 年 12 月国・地域別アクセス数ランキング

順位	国・地域	書誌事項	全文 PDF
1	日本	293	202
2	北アメリカ(アメリカ、カナダなど)	137	54
3	東アジア(中国、大韓民国など)	33	9
4	西ヨーロッパ (ドイツ、フランスなど)	12	7
5	東南アジア (シンガポール、ベトナムなど)	12	0
	その他(エチオピア、南アフリカ共和国、インド、イラン、ロシア)	5	6
	合計	494	289

担当者の分析とメッセージ

<分析>

○古い巻から新しい巻までアクセスがある。

○全体の書誌事項へのアクセス数が、366（11月）から494（12月）へと増加した。今回、北アメリカからの書誌事項へのアクセス数が51（11月）から137（12月）へと増加した。また、エチオピアや南アフリカ共和国、インドなど新たな国からのアクセスもあった。

○アクセス数増加は、HPの充実や他学会への宣伝活動に依拠すると考えられるので、年次大会ポスターや学会誌投稿募集リーフレット配布など、さらに広報活動を充実させます。

<お知らせ>

セキュリティ強化のため、J-STAGEが平成30年12月12日より通信暗号化方式を「TLS1.2」へと切替を行いました。下記ページに、動作確認済みのOS、ブラウザが掲載されています。

J-STAGE 推奨環境

<https://www.jstage.jst.go.jp/static/pages/RecommendedEnvironment/-char/ja>

<メッセージ>

J-STAGEで公開されている *Second Language* 掲載論文を文献研究・先行研究の確認に、より一層ご活用ください。

4. ウェブページへの情報掲載について

他学会情報や求人情報を、学会ウェブページに掲載しております。他学会や求人に関する事など、第二言語習得研究者にとって有益と思われる情報について、積極的に掲載したいと思いますので、事務局まで情報をお寄せください。ただし、本会の趣旨並びに広報委員会の基準に照らし合わせて掲載不可となる場合もありますので、ご了承ください。

現在、掲載中の情報(抜粋) 【他学会の情報(発表申込締切がこれからのもの。他の学会情報は J-SLA のウェブページ をご覧ください。)】

・ The European Second Language Association 29th Annual Conference (EuroSLA)
2019 年 8 月 28-31 日, スウェーデン 【発表申込締切:2019 年 2 月 15 日 (延長)】

Second Language Research Forum (SLRF) 2019

2019 年 9 月 19-22 日, Michigan State University, アメリカ 【発表申込締切:
2019 年 3 月 3 日】

【その他】

言語系学会連合主催特別講演会「外国語習得を探究する」[2019年2月23日(土) 聖心女子大学]

Colloquium : Investigating Linguistic Knowledge and Behaviour among L2 Learners:
Sounds and Measurements [2019年3月4日(月) Language Institute, Thammasat
University (Bangkok)]

皆様、J-SLA2019年次大会の発表へのご応募をお待ち申し上げます。

連絡先：<swkbys37[at]tamacc.chuo-u.ac.jp>